



日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより



マイナスをプラスに！  
まずは決意、そして今日からスタート。

Vol. **6** 2011年2月15日発行



本渡まちづくり協議会 会長 中川 竹治

皆様には、お健やかに新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。日ごろより本渡まちづくり協議会にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

昨年(2010年)は国内外とも大変厳しい年でした。天草でも厳しさは変わりありません。さまざまな問題をかかえ新しい年を迎えました。昨年国勢調査が行われましたが、人口の減少はとどまることを知りません。天草市の人口将来予測によれば、2030年には6万人と推定されています。

昨年阿蘇を訪れたときのことですが、天草五橋が開通した当時の観光客の入り込み数は、天草500万人・阿蘇500万人と言われていました。今、天草400万人・阿蘇1,800万人と言われていました。それでも阿蘇の地域は寂れていった、観光だけでは地域振興につながらない、イベントはそのときその場で終わり、大切なのは地域の受け皿を作らなければ意味がない、そういう思いで一生懸命頑張っておられる地域の人々の姿がとても印象的で、私も思いを新たにしました。

松下幸之助さんは、「自分がここまでこれたのは、“学歴が無かったおかげや”“家が貧しかったおかげや”“体が弱かったおかげや”これが良かったんや。」と言っておられたそうです。普通なら負い目に思い、できない言い訳にすると、私達も発想を転換して、マイナスをプラスに変えて地域づくりに取り組んでみようではありませんか。今までは当たり前のように思っていた、そこにある景色景観、文化や風習、食べ物などもう一度見つめ直して見たら、新しい何かが起こるかもしれません。地域に愛着心を持ちうる人材の育成、まちづくりに関われない人はいません。皆さんがまちづくりに関われば所得も上がると思います。できないを、できるに変えましょう。どうせできないだろうを、できるためにはどうすればいいのかという志向を常に持っていれば必ずできると確信しております。

「理想」「実現」「現実」。理想を思い描いて、それを実現する道筋を描いて、今現実からスタートする。持続可能な天草づくりに、いま今日からスタートしようではありませんか。このようなことを新しい年の初めに考えながら今年も地域づくりに取り組んで活きたいと思っておりますので、本年もご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますように、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

- 会長挨拶……………P1
- 人材育成事業・まちづくり研修…P2～3
- 特集 地域に元気を!!……………P4
- 「チャレンジ支援事業交付金」の活用…P5
- ほんどの振興会は「元気」ハイ!…P6～7
- お知らせ……………P8



## ほんどのいき

平成23年1月1日現在  
(H22.7.1との比較)

【本渡南】	男 … 4,327人(+11)
計	女 … 4,976人(+1)
9,303人	世帯数…3,884(±0)
(+12)	高齢化率…26.0%
【本渡北】	男 … 5,149人(+53)
計	女 … 5,651人(+78)
10,800人	世帯数…4,470(+32)
(+131)	高齢化率…20.6%
【亀場】	男 … 2,016人(+44)
計	女 … 2,318人(+13)
4,334人	世帯数…1,693(+9)
(+57)	高齢化率…19.8%
【伊宇土】	男 … 384人(±0)
計	女 … 388人(-2)
772人	世帯数…268(-2)
(-2)	高齢化率…34.5%
【志柿】	男 … 1,469人(-13)
計	女 … 1,705人(-13)
3,174人	世帯数…1,232(+4)
(-26)	高齢化率…24.1%
【下浦】	男 … 929人(+6)
計	女 … 1,071人(-12)
2,000人	世帯数…765(-2)
(-6)	高齢化率…37.0%
【楠浦】	男 … 1,253人(-13)
計	女 … 1,395人(-18)
2,648人	世帯数…999(+2)
(-31)	高齢化率…31.1%
【本町】	男 … 941人(-15)
計	女 … 1,039人(-14)
1,980人	世帯数…863(-4)
(-29)	高齢化率…31.3%
【佐伊津】	男 … 1,650人(+4)
計	女 … 1,916人(-4)
3,566人	世帯数…1,434(-1)
(±0)	高齢化率…31.0%
【宮地岳】	男 … 303人(-1)
計	女 … 321人(-6)
624人	世帯数…263(-5)
(-7)	高齢化率…42.3%
【合計】	男…18,421人(+76)
計	女…20,780人(+23)
39,201人	世帯数 15,871(+33)
(+99)	高齢化率… 25.7%

### 編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市企画部地域振興課内  
(コミュニティ推進係)  
〒863-8631  
熊本県天草市東浜町8-1  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-24-3501

## テレビでもおなじみの「海士町」から ヒントを!!

～日本の宝島“天草”づくり  
講演会を開催します～

市では、市民の皆さんと行政の協働によるまちづくりを推進するため、「日本の宝島“天草”づくり講演会」を開催します。

本年は、地域づくり分野で全国的に注目されている「島根県海士町」から、交流促進課長の青山氏、海士町観光協会 商品開発研修生のサミーラ氏の2名をお迎えして、海士町での取り組みをご紹介いただくなかで、「今の海士町があるのは?」、「何故、テレビで取り上げられるまでになったのか。」など、地域づくりのヒントやアイデアがたくさん詰まったお話をさせていただきます。

この機会に是非ご参加いただき、まちづくりについて一緒に考えてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしております。

■日時 平成23年2月27日(日)

午後1時30分開場、午後2時開演

■場所 栖本福祉会館

■講師 島根県海士町 交流促進課 課長 青山富寿生氏

海士町観光協会 商品開発研修生 サミーラ グナワラデナ氏

■演題 「海士ならではの笑顔の追求～自ら築く、海士町の挑戦～」

■主催 天草市

## 本渡の地区振興会が集う!

～本渡まちづくり発表会を開催します～

本渡地域内の振興会が一堂に会し、地域の実情と課題を再認識し、本渡地域のまちづくりのあり方を考えるため、「本渡まちづくり発表会」を開催します。

本年は、各地区振興会の持ち時間を7分として、地域の特徴的な事業を発表していただきます。「他の地区振興会ではどんなことをしているのかな」、「何かうちの地域にはできないかな」など、考えている方は、参考にされてみてはいかがでしょうか。

本渡地域の多くの皆さん! 是非とも、ご参加ください。

■日時 平成23年3月18日(金)

午後7時20分から(午後6時50分から受け付け)

※特集で掲載した『お茶娘ダンサーズ』がオープニングを飾ります。

■場所 天草市民センター 大会議室(2階)

■主催 本渡まちづくり協議会

▼もうすぐ春です。春といえは入学・卒業のシーズン。天草からも多くの学生が夢と希望を胸に旅立つ若者がたくさんいるのではないのでしょうか▼とかいう、私の知人も、今春仕事を辞め学校に行くことになりました。やりたいことがあった。自分の夢を目標に天草から旅立っていく姿を見ると「頑張れよ!」と声援を送りたくなります▼不況で荒れ狂う世の中。そして、ものすごいスピードで進む天草の少子高齢化と過疎化。次代を担う若者たちが将来は天草で、そんな宝の島「天草」にしていきたいものです▼そのためにも、私たちが天草を守り、夢のある天草にしていかねければいけないですね。そして、また、天草に帰ってきてもらえるように。





小宮地区振興会の方々との意見交換のようす

振興会の平田豊会長から、耕作放棄地となっている土地を利用した高齢者が活躍でき

①新和町小宮地区振興会との交流  
 ■日 程…9月26日  
 ■参加者…22人参加

## まちづくり研修 市内研修

# 『ひとづくり』

## が大切

る「ヨモギの植栽」についてご紹介いただきました。「耕作放棄地の増大」「高齢者の生きがい対策」「地域の活性化」といった小宮地区振興会が抱える課題を解決する活動の一つとして行われているものです。

また、本地区はコミュニティイベントを推進しようとして、「夕やけ市での惣菜販売」や、「仕切網体験」など、地域づくりに積極的に取り組んでおられました。

参加者はヨモギを活用した地域づくりの話に興味津々。熱心に聞き入っていました。ヨモギの植栽場所や夕やけ市場、仕切網が行われている海岸などの見学を行いました。本渡のすぐ隣で先進的な地域づくりが行われていることを実感。参加者にとって実のある研修となったようでした。



通詞島の「まち歩き」のようす

②五和町二江まちづくり振興会との交流  
 ■日 程…11月7日  
 ■参加者…12人参加

山下新吾会長をはじめ、役員の方々の温かい出迎えをいただき、和気あいあいのうちに研修を終えました。二江地区では、色々な活動がとて熱心に行われていること、行事を行う関係者が積極的に活動していること、そして何より地域住民が各種事業を楽しんでいることがよく理解できました。女性グループからは手づくりの「塩ロールケーキ」をいただき、ますます二江を気に入ることとなりました。

## 人材育成事業 市外研修

- ①農産物直売店「ぶどう畑」(福岡市)
  - ②唐戸市場 (下関市)
  - ③食楽工房「キッチンファーム」(福岡市)
- 日 程：11月17日～11月18日  
 ■参加者：14人参加



「唐戸市場」



農産物直売店「ぶどう畑」

本渡まちづくり協議会では本年度、地域づくりと地域を担う人材の育成に役立てようと「まちづくり研修事業」と「人材育成事業」を実施してきました。これらの事業は、「地域づくり」に触れていただく機会を設けることでより身近に感じていただくこと、市内の他地区振興会と交流することで自身の地域づくりにつなげていくこと、という目的で本事業を行ったものです。本号では、これまでの取り組みをご紹介します。

今回の事業は、「食」や「食材」とおして活躍しておられる方々と直接お会いして、参加者の地域を見直し、研修した内容を参考に地域に役立てていただくことを目的に開催しました。

◆ぶどう畑◆  
 農家の主婦からオーナーになった農産物直売店「ぶどう畑」代表の新聞玉子さんからこれまでの経緯を聞くと、やはり努力と熱意、そして信念が曲がらなかったことでした。その基となったのが、国内農業の廃れ、輸入品の増加、まさに農業は一生貧乏するといわれることへの危惧、日本の農業の素晴らしさをたくさんの方々に教えたいとの信念でぶどう畑を開店させたそうです。

「お客様は、何も飾らず、清潔で素朴なものを求めている。ただ、どのようなものが求められているのか、時代遅れにならないためにも都市部への調査は重要」と新聞さんは話していました。

現在は、「食育」をテーマに若いお母さん方を集め、幼

児期から食材に対する意識を高める必要性を訴えるため、田植えやしめ縄作りの実践、弁当作りを通して食の重要性を教えていきたいと思います。

◆唐戸市場◆  
 唐戸市場は、農産物と海産物の業者が軒を並べ、専門の業者だけでなく、誰でも購入できる販売形態の市場です。

◆食楽工房◆  
 福岡市内中心部にある食楽工房「キッチンファーム」(1階は自然食品とパンの店、2階は食事処)のコンセプトは「地域に無くてはならない店」。近くには有名デパートや高級住宅街がある中、1日200〜250人が来店すること。商品は決して安くはなく、むしろ高いものが多い中、どんどん売れている状況を見させていただきました。店の代表である藤本文章さんはハウスメーカーから脱サラし、健康志向だった「水」に目をつけ事業として始められました。色々な苦労話をお聞きしましたが、何が本物なのか、何をお客様が望んでいるのかを見極めることがとて

③御所浦町嵐口地区振興会との交流  
 ■日 程…11月28日  
 ■参加者…20人参加

本渡港から海上タクシーを利用して御所浦町の嵐口港へ。港では竹正徳会長をはじめ役員の方々から温かく出迎えられ、参加者たちも笑顔での対面となりました。

近くの漁村センターで、嵐口地区振興会の活動内容の説明を受け、その後、収益事業として行われている「炭焼窯」と自分たちの手でコッコンと整備が行われている「ふれあい交流広場」の視察を行いました。

「自分たちの地域は自分たちで創る」といった考えが浸透しているようで、これからの交流広場の整備計画について



嵐口地区振興会の皆さんとの意見交換会のようす



藤本代表(上段左から4人目)との記念写真



食楽工房「キッチンファーム」

も重要だと感じました。天草にも良い素材が多いので、「自然」であり「安心」できるものがあれば、どんどん送っていたきたい、とのコメントに地域の「食材」等を提供できる体制が福岡にもあることを認識しました。

# 「チャレンジ支援事業交付金」の活用!



市では、地域の課題の解決に対する取り組みや自立に向けた活動に対し、『チャレンジ支援事業交付金』を助成しています。本号では、本年度本渡地域で支援を受けた地域の取り組みをご紹介します。

## 宮地岳地区振興会



■事業名 土着菌づくり事業  
■総事業費 335千円  
■事業内容 土着菌販売のためのオリジナル袋作成および苗作りのためのビニールハウスの建設。

## 亀場地区振興会

■事業名 コミュニティ・レストラン「まちの台所」事業  
■総事業費 1,122千円  
■事業内容 空き家を利用して、コミュニティかめば塾「まちの台所」を開業し、食の提供を行うための整備事業。厨房の改修や設備の整備。



## 楠浦地区振興会



■事業名 歴史探訪整備事業  
■総事業費 500千円  
■事業内容 楠浦地区の観光スポットである「眼鏡橋」付近の環境整備事業。観光案内板の設置、ベンチ・東屋の設置、植栽など。

## イベントで盛り 楽しみながら、笑顔でタスキをつなぎませんか? ～楠浦町ふれあい駅伝～

楠浦地区振興会では、初春のさわやかな季節に、楠浦町内(方原地区を除く)を走る11区間・11.7キロのコースで駅伝大会を開催します。小学生以上の健康な方ならチームを組んで、誰でも参加できます(先着8チームまで)。閉会式終了後には、お楽しみ抽選会もありますので、楽しみながら駅伝の醍醐味を味わってみてはいかがでしょうか。



昨年のスタートのようす

【とき】平成23年 3月6日(日)  
9時00分～受付 9時20分～開会式  
10時00分～スタート  
【場所】楠浦町公民館  
【申し込み】2月25日(金)までに、楠浦町公民館へお申し込みください。  
【問い合わせ】詳しくは、楠浦地区振興会のホームページまたは楠浦町公民館(TEL23-4456)まで。

参加料無料

# 特集 地域に元気を!!

地域づくりの一端を担う子どもたち

栢宇土地区振興会



今回は、栢宇土町をPRしようと頑張っている「お茶娘ダンス」代表の大田恵さんにお話を伺いましたので、ご紹介します。

■結成のきっかけは?

平成19年度まで小学校のクラブ活動として活動していたハイヤクラブ。指導されていた松田先生の転勤に伴い、学校単位での活動ができなくなりました。それでも、子どもたちの「楽しかった」「続けたい」という声があり、どうにかしてあげたいという保護者の願いで、希望者による自主サークルとして結成されました。今年で3年目になりますね。



公民館での練習風景

■メンバーは?  
栢宇土小学校の1年生から6年生までの14人(うち、男子2人)で、毎週水曜日に栢宇土公民館で練習をしています。

■どんな活動をされていますか?

栢宇土地区振興会の中のひとつの団体として、「栢宇土」のPR活動をしています。主にイベントなどのステージ出演や施設慰問、敬老会などがかかれば可能な限り参加しています。ただ、昨年は出演依頼が多く、子どもたちの負担になっていなかったか心配しています。今年は子どもたちの負担にならない程度で活動できればと考えています。

■課題は?  
現在、小学校の統廃合が進んでいます。栢宇土小学校も平成24年3月で閉校になり、宮地岳と亀場と統合になりますよ。(笑)

■今後の目標は?  
今は子どもたちがお茶娘として踊っていますが、子どもだけでなく地域の人もみんなハイヤを踊ってほしいですね。そして、子どもたちには栢宇土の良さを感じながら育って欲しいし、多くの方に栢宇土という地域を知っていただきたいと思っています。

私たちの活動は小さなものかもしれませんが、それが地域づくりにつながっていったらいいのではないかと考えています。



昨年出演した花しょうぶ祭り

先進地視察研修を行っています

下浦地区振興会 会長 富安 英猛

行政区長会、町女性部、町青年会「開新会」では、毎年町づくりについて、それぞれの役割に応じた取り組みを行っている先進地を訪問し研修を行っています。今年度は、町づくりを中心に行っている区長会が、地域を見つめ直すことで村おこしをしている水俣市頭石地区の「村丸ごと博物館」を視察。また、様々な振興会事業に参加する女性部では、地域の主婦グループで起業し農家レストランを運営している人吉市の「ひまわり亭」を訪問。ふるさと祭りを担う開新会は、祭りの企画や運営方法を学ぶため、宮崎県三股町の「三股町ふるさとまつり」など3カ所の祭りを視察しました。

毎年多くの方々に参加するこれらの研修で得られたものは、現在の振興会の運営に生かされており、また、将来の下浦町の大きな財産になるものと考えています。



ひまわり亭で研修を受ける女性部の皆さん

町の歴史探訪拠点ができました

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

市宝島づくりチャレンジ支援事業交付金を活用し、県指定文化財の「楠浦の眼鏡橋」周辺の荒廃地を花畑に再生し、ふれあいの場として東屋や遊歩道を整備。市道沿いには楠浦町の歴史文化財等を紹介（探訪）する大型案内板を設置しました。また、この事業の完成を記念に楠浦の眼鏡橋フォトコンテストを開催し、北九州などから58名、177点の作品が展覧され、楠浦町の魅力を内外にPRすることに役立ちました。

今後は、楠浦町に点在する名所旧跡等に誘導板や案内板を設置し、楠浦町の自然や歴史文化等の地域資源を活用したまちづくりを目指します。



眼鏡橋そばに大型案内板を設置しました

南地区大運動会を開催！

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

11月14日、本渡南小学校で第5回本渡南地区大運動会を開催しました。当日は絶好の運動会日和に恵まれ、参加者は綱引きや15人縄跳び、リレー種目など地域で力を合わせて、楽しく競技をしておられました。どの種目も白熱した戦いが繰り広げられ、各地域のテントからも大きな声援が送られ、大変盛り上がりしていました。

また閉会式終了後は、寄付をいただいた多くの事業所のご協力により、お楽しみ抽選会を盛大に実施。参加者の皆さんは秋晴れの日を満喫していました。運動会を通じ、地域住民相互の親睦と融和を深め、今後の地域づくりにつなげていければと思います。



15人縄跳び それっ！

冬の夜を彩り、北地区にさらなる活気を！

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

昨年11月21日から今年1月10日まで、本渡北小学校の正門一帯を電飾で彩る「クリスマス・イルミネーション事業」を実施しました。地区内外の人たちに楽しんでもらうとともに地域の活性化を図ろうと、今回初めて取り組んだものです。11月21日に行った飾り付け作業では、本渡北青年会の会員など約20人が、約3,500球の発光ダイオード(LED)をサクラの木の枝に丁寧に飾り付けたほか、まちづくりのテーマを記した看板や、雪だるまのオブジェを設置。期間中、青や白など色とりどりの電飾が冬の夜を彩り、道行く人たちの目を楽しませていました。



本渡北小学校の正門一帯を華やかに彩るイルミネーション

公民館活動との連携

本町地区振興会 会長 鶴田 正人

本町公民館で文化サークルとしてカラオケ・日舞・フラダンス・大正琴などの団体が活動していて、本町地区振興会ではこれらの自主学級との連携も盛んに行っています。メインイベントといえるのが11月に行われる本町ふるさとまつりの奉納演芸。野外演芸場での披露に大きな拍手が寄せられます。さらに3月には公民館で生涯学習フェスタを開催し、一年間の活動の集大成を披露されています。

また、このほかにも福祉施設などへの訪問も積極的に行っています。サークル活動は本町の行事の彩りに欠かせないものとなっており、自主学級を楽しみながら、地域の活性化につなげる。息の長い地域活動にはこういうことも重要だと考えています。



「本町ふれあい生涯学習フェスタ」の様子

ほんどもの振興会は「元気」バイ!

郷土料理の開発に取り組んでいます！

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

佐伊津地区振興会では、今年度からの新しい事業として、婦人会のメンバーを中心とし郷土料理の開発に取り組んでいます。地域に古くから伝わる料理を発掘して伝承し広めていくとともに、地元の特産物を活用して新たな料理を作り出そうというものです。

初年度の昨年は、地元近海で捕れた「タコ」を使った寿司2種類と特産物である「黒砂糖」を使ったお菓子を創作して、ふるさと祭りの来場者に試食をしていただき、大変好評を得ました。

今後は改良しながら、古くからあった料理とともに各家庭への普及に努めていきたいと考えています。



佐伊津町特産のさとうきび

かかしてまち興し!?

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

宮地岳町では、碓井公民館長を中心にかかし作りに取り組んでいます。高齢者と子どもの交流事業や、豆木場地区のふれあいサロンなどが目的です。製作したかかしは、菜の花祭り・ふるさとまつりなどの各種イベントで展示しています。昨年、菜の花祭りに併せて豆木場区にかかし村を展示した際には、多くの方に立ち寄っていただき、色々な感想を寄せていただきました。

地域づくり視察研修で、昨年、大分県日田市のかかし村も見学し、前年よりも良いかかし村にすると意気込んでいます。

今年も、菜の花祭りに併せて3月中旬～4月中旬まで展示する予定です。見かけた際は、是非お立ち寄りください。



かかし作りのようす

第23回杵宇土ふるさとまつり開催

杵宇土地区振興会 会長 赤石 良一

11月21日、「第23回杵宇土ふるさとまつり」が、杵宇土町公民館で開催されました。当日は晴天に恵まれ、町内外から約500人の来客がありました。ステージイベントでは、「琉球国祭り太鼓エイサー」や「ひょっこり踊り」をはじめ、保育園の遊戯や小学校の合唱、太極拳やコントなどで大変盛り上がりしました。その他、バザーや文化展示農産物品評会も好評でした。

最後に実施したお楽しみ抽選会や餅投げは、この日一番の盛り上がりとなり、笑い声の絶えない楽しい一日となりました。



行列のできる「特産品コーナー」

安心して暮らせる生活環境づくりを目指して

「見守り袋配布事業」志柿地区振興会 会長 浦田 義孝

11月15日、志柿町公民館で「見守り袋配布事業」の配布開始式を行いました。

安心して暮らせる生活環境づくりなどを目的に、ランドセルほどの大きさの袋に洗面器、コップ、スプーンなどの入院時に必要な物品を入れた「見守り袋」を地区内に住む70歳以上のひとり暮らし世帯などに配布する事業で、天草市では初めての取り組みです。同月末にかけて、民生・児童委員が対象者約130世帯を訪問して配布しました。

受け取った住民の方から、「これだけの準備があれば安心です」など多数のお礼の言葉が寄せられました。



緊急時のおもとして